

2022 年度 B

# 数 学

(全 5 ページ)

## 注意事項

1. 受験番号、氏名および解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。
2. 問題用紙に解答を書き込んでも採点されません。
3. 答えはできるだけ簡単にしなさい。
4. 図やグラフは参考のためのものです。
5. 特別な指示がないときは、円周率 $\pi$ や $\sqrt{\quad}$ は近似値を用いしないで、そのまま答えなさい。

I. 次の問いに答えなさい。

[1]  $(-6)^2 \div 9 - (-2)^3 \times (-3)$  を計算しなさい。

[2]  $x=24$ ,  $y=-\frac{1}{2}$  のとき,  $\left(-\frac{2}{3}xy^2\right)^2 \div 8x^2y \times (-36xy)$  の値を求めなさい。

[3]  $\frac{(2\sqrt{3}-\sqrt{6})^2}{\sqrt{2}} - 3\sqrt{18}$  を計算しなさい。

[4]  $3x(x-2) - (x-4)(x+4) - (x+1)(x+5)$  を因数分解しなさい。

[5] 連立方程式 
$$\begin{cases} \frac{3x-y}{2} + x + 2y = -3 \\ 0.5x + 1.2y = 3 \end{cases}$$
 を解きなさい。

[6] 2次方程式  $2(x-3)(x+2) - 3(x-2)(x-5) = -8$  を解きなさい。

Ⅱ. 次の問いに答えなさい。

- [1] 下の表は、中学生 40 人がバスケットボールのフリースローを 1 人 8 回ずつ行い、シュートが入った回数をまとめたもので、シュートが入った回数が 5 回の生徒の人数はわかっていない。このとき、40 人のシュートが入った回数の平均値を求めなさい。

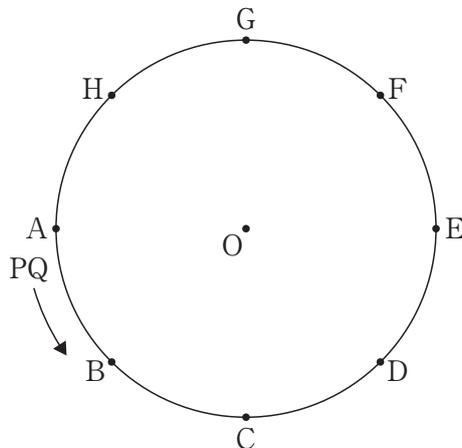
回数(回)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	計
度数(人)	0	2	3	2	1		12	10	4	40

- [2] 下の図のように、円 O の周上に 8 点 A, B, C, D, E, F, G, H が等間隔に並んでいる。大小 2 つのさいころを同時に 1 回投げ、点 P は頂点 A から大きいさいころの出た目の数の 2 倍だけ、時計の針と反対の方向に頂点を移動する。また、点 Q は頂点 A から大小 2 つのさいころの出た目の数の和だけ、点 P と同じ方向に頂点を移動する。このとき、次の問いに答えなさい。ただし、さいころのどの目が出ることも同様に確からしいものとする。

- (1) 点 P が頂点 E にあり、点 Q が頂点 D にあるようなさいころの目の出方は何通りあるか、求めなさい。

- (2) 2 点 P, Q が同じ頂点にある確率を求めなさい。

- (3) 3 点 B, P, Q を結んだとき、 $\triangle PBQ$  が直角三角形となる確率を求めなさい。



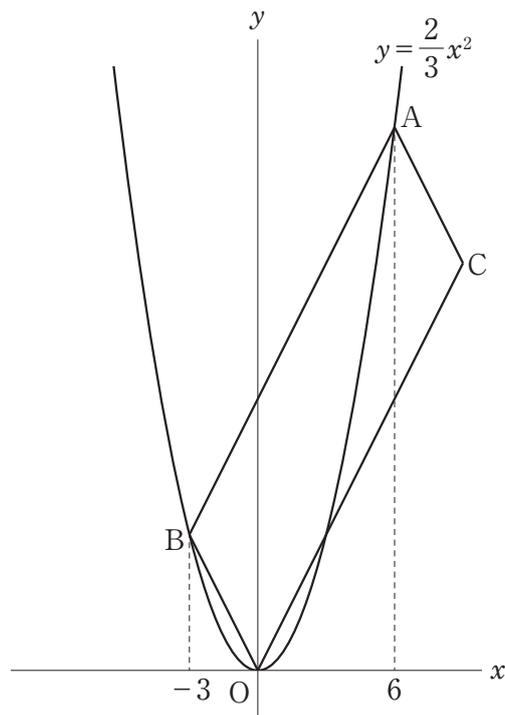
Ⅲ. 下の図のように、放物線  $y = \frac{2}{3}x^2$  がある。2点 A, B は放物線上の点で、その  $x$  座標はそれぞれ 6, -3 である。四角形 OCAB が平行四辺形となるように、点 C をとる。このとき、次の問いに答えなさい。

〔1〕 点 C の座標を求めなさい。

〔2〕 直線 AB の式を求めなさい。

〔3〕 直線 AB と  $x$  軸との交点を D とする。点 D を通り、平行四辺形 OCAB の面積を 2 等分する直線の式を求めなさい。

〔4〕 線分 AB 上に点 P,  $x$  軸上に  $x$  座標が 10 である点 Q をとる。△OQP の面積と平行四辺形 OCAB の面積が等しいとき、点 P の座標を求めなさい。



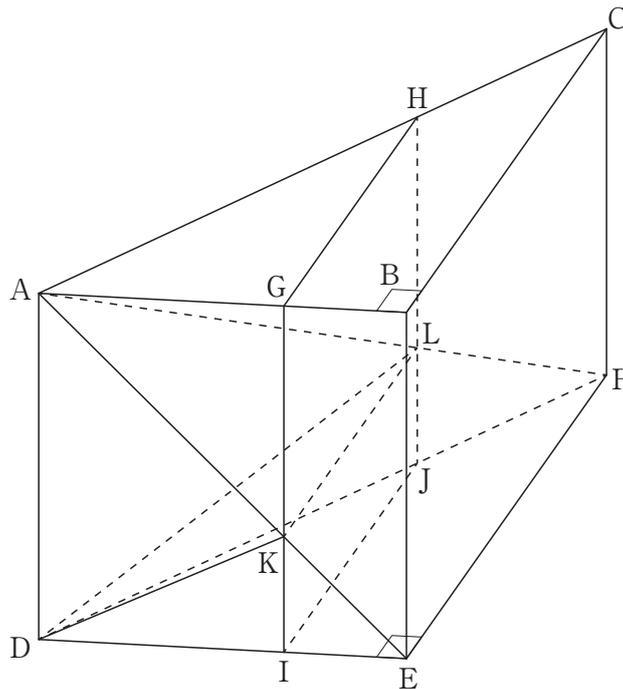
IV. 下の図のような三角柱  $ABC-DEF$  があり,  $AB=6\text{cm}$ ,  $BC=8\text{cm}$ ,  $AD=6\text{cm}$ ,  $\angle ABC=90^\circ$  である。4点  $G, H, I, J$  はそれぞれ辺  $AB, AC, DE, DF$  上にあり,  $AG:GB=AH:HC=DI:IE=DJ:JF=2:1$  である。線分  $AE$  と線分  $GI$  との交点を  $K$ , 線分  $AF$  と線分  $HJ$  との交点を  $L$  とし, 点  $D$  と点  $K$ , 点  $D$  と点  $L$ , 点  $K$  と点  $L$  をそれぞれ結ぶ。このとき, 次の問いに答えなさい。

〔1〕三角柱  $ABC-DEF$  の体積を求めなさい。

〔2〕線分  $DK$  の長さを求めなさい。

〔3〕四角錐  $D-IJLK$  の体積を求めなさい。

〔4〕立体  $KL-IEFJ$  の体積を求めなさい。



V. 下の図のように、黒石と白石を、黒、白、黒、黒、黒、白、黒、黒、…の順に、1段目には1個、2段目には3個、3段目には5個、…と、奇数個ずつ置く。このとき、次の問いに答えなさい。

	1列目	2列目	3列目	4列目	5列目	6列目	7列目	8列目	9列目	10列目	11列目	12列目	13列目	…
1段目	●													
2段目	○	●	●											
3段目	●	○	●	●	●									
4段目	○	●	●	●	○	●	●							
5段目	●	○	●	●	●	○	●	●	●					
6段目	○	●	●	●	○	●	●	●	○	●	●			
7段目	●	○	●	●	●	○	●	●	●	○	●	●	●	
⋮														

- [1] 8段目の10列目に置かれている石の色を求めなさい。
- [2] 65段目に置かれている白石の個数を求めなさい。
- [3]  $n$ を自然数とする。 $(2n-1)$ 段目に置かれている黒石の個数を、 $n$ を用いた式で表しなさい。
- [4] 1段目から100段目までに置かれている黒石の個数を求めなさい。計算過程も解答欄に書きなさい。

2022年度B 入学試験 数学解答用紙

受験番号	氏名

採点欄

I	[1]	[2]
	[3]	[4]
	[5] $x=$ , $y=$	[6] $x=$

II	[1]	回
	[2] (1) 通り	(2) (3)

III	[1] ( )	[2]
	[3]	[4] ( )

IV	[1] $\text{cm}^3$	[2] $\text{cm}$
	[3] $\text{cm}^3$	[4] $\text{cm}^3$

V	[1]	[2] 個
	[3]	個
	[4]	答え 個

合計	
----	--

2022年度B 入学試験 数学解答用紙

受験番号	氏名

採点欄

I	[1]	-20	[2]	-3
	[3]	-12	[4]	$(x-11)(x-1)$
	[5]	$x = -\frac{18}{5}, y = 4$	[6]	$x = 2, 17$

II	[1]	5.55			回
	[2]	(1) 2 通り	(2) $\frac{1}{6}$	(3) $\frac{2}{9}$	

III	[1]	( 9 , 18 )	[2]	$y = 2x + 12$
	[3]	$y = \frac{4}{3}x + 8$	[4]	( $\frac{24}{5}$ , $\frac{108}{5}$ )

IV	[1]	144	cm <sup>3</sup>	[2]	$2\sqrt{5}$	cm
	[3]	$\frac{128}{9}$	cm <sup>3</sup>	[4]	$\frac{112}{9}$	cm <sup>3</sup>

V	[1]	黒	[2]	32	個
	[3]	$3n - 2$			個
	[4]	<p>1 段目から 100 段目までにある石の個数は, <math>100^2 = 10000</math>(個)                  「黒, 白, 黒, 黒」の組は 2500 組あるから, 白石の個数は 2500 個。                  よって, 黒石の個数は, <math>10000 - 2500 = 7500</math>(個)</p> <p style="text-align: right;">答え 7500 個</p>			

合	計
計	